



新たな時代へ

クリストフ・ウェバー
代表取締役 社長 CEO

2023年6月28日 第147回定時株主総会



Better Health, Brighter Future

重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション（presentation）」とは、本プレゼンテーションに関して武田薬品工業株式会社（以下、「**武田薬品**」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社（we、us及びour）」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本プレゼンテーションに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする（targets）」、「計画する（plans）」、「信じる（believes）」、「望む（hopes）」、「継続する（continues）」、「期待する（expects）」、「めざす（aims）」、「意図する（intends）」、「確実にする（ensures）」、「だろう（will）」、「かもしれない（may）」、「すべきであろう（should）」、「であろう（would）」、「かもしれない（could）」、「予想される（anticipates）」、「見込む（estimates）」、「予想する（projects）」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト（<https://www.takeda.com/investors/sec-filings/>）又はwww.sec.govにおいて閲覧可能な米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標

武田薬品の財務諸表は、国際会計基準（以下、「IFRS」）に基づいて作成されております。

本プレゼンテーションには、Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社経営陣は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本プレゼンテーションに含まれるIFRSに準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も良く対応するIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標を提供することで、当社経営陣は、投資家の皆様に対し、武田薬品の経営状況及びCore業績の更なる分析のための為替変動の影響を含む付加的な情報を提供したいと考えております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、本プレゼンテーションの巻末に掲載した財務補足情報にて、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

為替

本プレゼンテーションでは、特に断りのない限り、利用者の便宜のために、日本円で表示された一部の金額をニューヨーク連邦準備銀行が2023年3月31日に認定した正午時点の買値レートである1米ドル=132.75円で米ドルに換算しています。これらの便宜的な換算に使用された買値レート及び換算方法は、当社の連結財務諸表に使用されるIFRSの換算レート及び換算方法とは異なります。これらの便宜的な換算は、関連する日本円の金額が当該買値レート又は他のレートで米ドルに換算されうること示すものではありません。

医療情報

本プレゼンテーションには、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

グローバルなバイオ医薬品企業

グローバル本社
東京 日本橋

グローバルハブ
米国 マサチューセッツ州
ボストン地区 ケンブリッジ

約**40** 臨床試験段階にある
新規医薬品候補

グローバル拠点
約**80** の国・地域

25以上 製造拠点

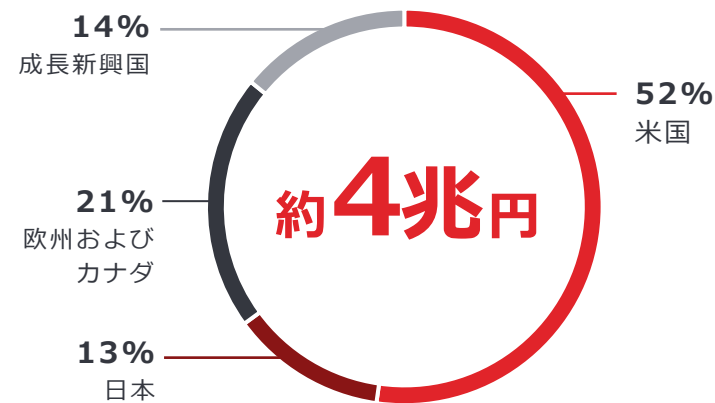
3 研究拠点

200以上

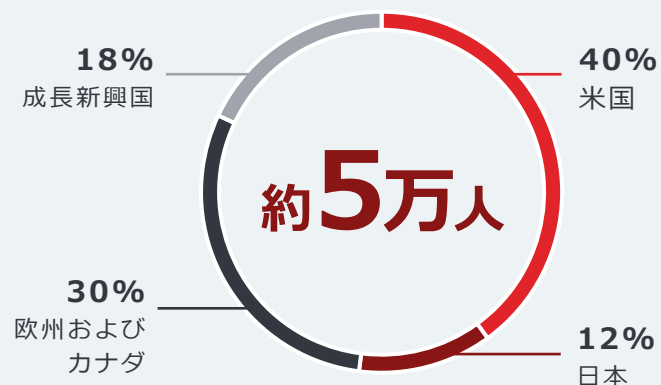
パートナーシップを通じ、革新的
な医薬品を患者さんにお届けする

39 力国
および4地域での
TOP EMPLOYER®認定

2022年度売上収益



2023年3月31日時点



2023年5月時点

創業

1781年
大阪 道修町

従業員

世界中の人々の健康と、 輝かしい未来に貢献する



私たちはこの約束を胸に、
革新的な医薬品を創出し続けます。

PATIENT

すべての患者さんのために

- 私たちは、倫理観をもってサイエンスの革新性を追求します。そして、人々の暮らしを豊かにする医薬品の創出に取り組めます。
- 私たちの医薬品を、より多くの人々に迅速にお届けします。

PEOPLE

ともに働く仲間のために

- 私たちは、理想的な働き方を実現します。

PLANET

いのちを育む地球のために

- 私たちは、自然環境の保全に寄与します。

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

- サイエンスに基づき、もっとも信頼されるデジタルバイオ医薬品企業として、これからも変革し続けます。

私たちが大切にしている価値観である
タケダイズムとは、まず**誠実**であること。
そして、**公正・正直・不屈**の精神で
支えられています。

私たちはこれを道しるべとしながら、

1. 患者さんに寄り添い (**Patient**)
2. 人々と信頼関係を築き (**Trust**)
3. 社会的評価を向上させ (**Reputation**)
4. 事業を発展させる (**Business**)

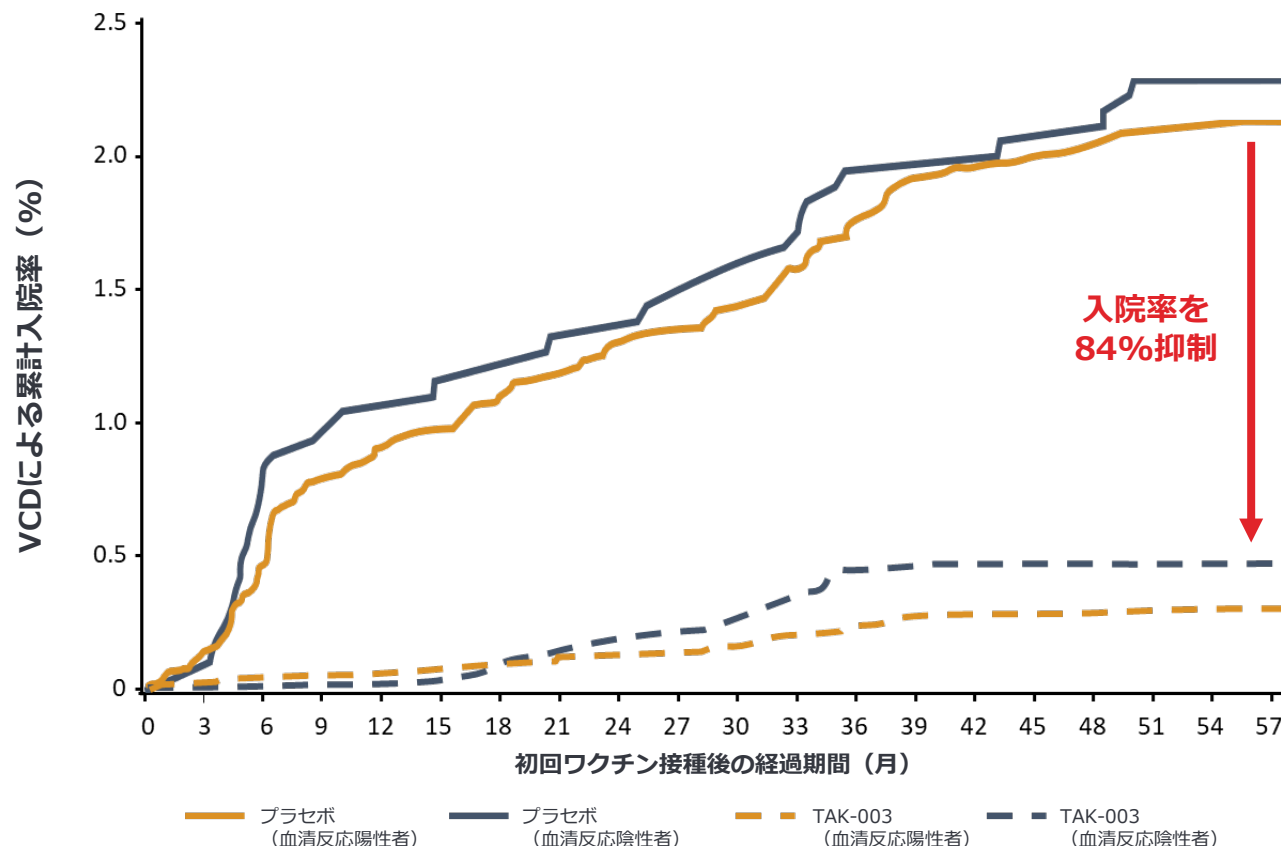
を日々の行動指針とします。

安全で有効なデング熱ワクチンに対する差し迫った需要に対応



ピボタル臨床第3相試験において入院率を有意に抑制¹

4.5年時点における探索的解析



- ピボタル臨床第3相試験では、中南米およびアジアにおいて、2万例以上の小児と若年者を対象に安全性と有効性を評価
- 12カ月時点における症候性VCDを80.2%抑制（主要評価項目）
- 18カ月時点における入院率を90.4%抑制（副次評価項目）
- 4.5年時点において持続的な防御効果（探索的評価項目）：
症候性VCDを61%抑制し、入院率を84%抑制
- 重要な安全性リスクは特定されず²

VCD：ウイルス学的に確認されたデングウイルス感染症（Virologically Confirmed Dengue）

1. Tricou V, et al. Efficacy and Safety of Takeda's Tetravalent Dengue Vaccine Candidate (TAK-003) After 4.5 Years of Follow-Up（オーラルプレゼンテーション、2022年6月）。Northern European Conference on Travel Medicine (NECTM)、オランダ ロッテルダムにて発表。

2. 最も高い頻度で報告された有害事象は、注射部位痒痒、挫傷および発熱であった

当社の臨床開発段階にある約40の新規候補物質

14品目が臨床第1相、18品目が臨床第2相、7品目が臨床第3相試験段階



	臨床第1相試験	臨床第2相試験	臨床第3相試験
消化器系・炎症性疾患	TAK-105 Nausea & vomiting TAK-647 NASH¹	TAK-279 Psoriasis TAK-101 Celiac Disease TAK-951 Nausea & vomiting	fazirsiran AATD Liver Disease ENTYVIO® Pediatric UC, CD ALOFISEL® Perianal Fistulas in CD (US) maralixibat ALGS, PFIC (JP)
ニューロサイエンス (神経精神疾患)	TAK-920 Alzheimer's Disease	TAK-279 Psoriatic Arthritis TAK-227 Celiac Disease zamaglutinase TAK-062 Celiac Disease	ENTYVIO® SC CD (US) ENTYVIO® GvHD Prophylaxis ALOFISEL® Pediatric perianal Fistulas in CD
オンコロジー + 細胞療法	TAK-102 Solid tumors TAK-103 Solid tumors TAK-186 EGFR Solid Tumor²	TAK-861 NT1, NT2 TAK-071 Parkinson's Disease TAK-041 Anhedonia in MDD TAK-653 Inadequate resp. in MDD	soticlestat DS soticlestat LGS pabinafusp alfa Hunter Syndrome
希少遺伝子疾患 および 希少血液疾患	TAK-500 Solid tumors TAK-676 Solid tumors TAK-280 B7-H3 Solid Tumor²	danavorexton TAK-925 Postanesthesia recovery TAK-341 MSA TAK-594 Frontotemporal dementia TAK-611 MLD (intrathecal)	EXKIVITY® 1L NSCLC EGFR exon 20 fruquintinib mCRC (JP) ICLUSIG® 1L Ph+ ALL (US)
血漿分画製剤	TAK-940 CD19+ hematologic malignancies modakafusp alfa Solid tumors ICLUSIG® Pediatric Ph+ ALL	modakafusp alfa R/R MM subasumstat Multiple cancers TAK-007 CD19+ hematologic malignancies	NINLARO® Maint. ND MM post-SCT (US, EU) relugolix Prostate cancer (JP, CN) CABOMETYX® mCRPC combo w/atezolizumab (JP)
ワクチン	TAK-755 SCD mezagitamab IgAN	mezagitamab MG mezagitamab ITP TAK-755 iTTP	TAK-755 cTTP (JP, CN) LIVTENCITY® Post-transplant CMV infection (JP) OBIZUR® Recomb antihemophilic factor porcine (EU) ADYNOVATE® recombinant Factor VIII Pediatric HemA (EU)
		TAK-881 Immunodeficiencies	VONVENDI® vWD Adult Prophylaxis (CN) VONVENDI® vWD Pediatric On-demand & Surgery
			HYQVIA® PID, CIDP, MMN (JP) TAK-880 IgG – Low IgA (EU) Glovenin-I Encephalitis (JP) Prothromplex DOAC Reversal (US)
	TAK-426 Zika Vaccine		Nuvaxovid® COVID-19 Vaccine Booster (JP) QDENGAR® Dengue Vaccine Booster

1. 患者登録中の試験
2. 現在、臨床第1/2相試験の第1相パート

★ 希少疾患用医薬品（オーファンドラッグ）の指定可能性（いずれかの地域/適応症）

新規候補物質	LCM
--------	-----

全てのタイムラインは2023年6月28日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があります。また、臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中は包括的なものではありません。臨床第3相試験にはピボタル試験も含む。略号用語は参考資料をご参照下さい。

TAK-279: 複数の免疫介在性疾患において、ベストインクラスの経口TYK2阻害薬となる可能性



高い選択性により、TYK2阻害作用が高まる

	NDI-034858	Deucravacitinib
TYK-2—JH2 binding K_D	0.0034 nM	0.0045 nM
JAK1—JH2 binding K_D	5000 nM	0.49 nM
Biochemical Selectivity (Fold)	1.5×10^6	109
Fold Selectivity (vs. deucravacitinib)	1.3×10^4	

出典：Nimbus社の独自構造に基づくコンピュータモデリング；「NDI-034858」およびdeucravacitinibの生化学的な効力の比較評価（非臨床研究のみを目的としてNimbus社により合成）

JAKに関連した毒性を惹起することなく より高い効果が得られる可能性

出典：Gangolli, et al. 2022. [Characterization of pharmacokinetics, pharmacodynamics, tolerability and clinical activity in Phase 1 studies of the novel allosteric tyrosine kinase 2 \(TYK2\) inhibitor NDI-034858.](#)

まとめ

- 優れた有効性：30mg投与群の33%の患者さんが12週時点で皮膚病変の完全な消失（PASI 100）を達成¹
- 試験治療下で発現した有害事象はおおむね低頻度^{2,3}
- JAKよりもTYK2に対して高い選択性
 - 150万倍
 - 忍容性に優れ、1日1回経口投与
- 作用機序は広範な適応症につながり、数十億米ドルの収益機会をもたらす可能性

2028年の市場規模の推定⁴

- 乾癬 300億米ドル
- 炎症性腸疾患 300億米ドル
- 乾癬性関節炎 70億米ドル

1. Armstrong et al., 米国皮膚科学会において発表（2023年3月15日）
2. TEAEs: Treatment Emergent Adverse Event（試験治療下での有害事象）
3. 最も頻度高く発生: COVID-19, ざ瘡、ざ瘡様皮膚炎 および下痢
4. Evaluate Pharma

当社は革新的な複数の新薬候補からなるフランチャイズを持ち、 オレキシン治療薬の分野を推し進める



ナルコレプシータイプ1

- **TAK-861**は長時間作用型の経口オレキシン2受容体作動薬。下流の神経伝達物質の活性を回復させ、覚醒維持を促進することにより、**ナルコレプシータイプ1**の革新的な治療薬となる可能性
- ナルコレプシータイプ1を対象とする臨床第2b相試験の被験者登録中

ナルコレプシータイプ2および 特発性過眠症（追加適応症）

- **TAK-861**は、ナルコレプシータイプ2を対象とする臨床第2b相試験の被験者登録中
- 進行中の臨床第2b相試験の結果により、ナルコレプシータイプ2および特発性過眠症での開発を検討

麻酔後の回復

- **TAK-925**は短時間作用型で静脈注射投与のオレキシン2受容体作動薬。腹部手術時の全身麻酔によるOSA¹を対象とする臨床第2相試験の被験者登録中
臨床第1相試験の成績をIARS²において発表

1. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群（Obstructive Sleep Apnea）

2. 国際麻酔学研究学会（International Anesthesia Research Society）（2023年4月）

2023年度：新規候補物質および適応拡大による複数の承認取得の可能性



主な承認の可能性

主な臨床第3相試験/ ピボタル試験読み出し

ENTYVIO 皮下投与製剤	潰瘍性大腸炎 クローン病	米国 承認 日本 承認
QDENGGA	デング熱ワクチン	米国 承認 流行国
TAK-755	先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）	米国 承認
fruquintinib	転移性大腸がん	米国 承認
TAKHZYRO	小児の遺伝性血管性浮腫（HAE）	欧州 承認
HYQVIA	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）	米国 承認 欧州 承認
HYQVIA	HyHub AVA ¹ デバイス	米国クリアランス ² →
HYQVIA	小児の原発性免疫不全症候群（PID）	米国 承認済 ✓
Gammagard Liquid	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）	米国 承認
ALOFISEL	複雑痔瘻	臨床第3相試験（米国）
maralixibat	アラジール症候群（ALGS） 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症（PFIC）	臨床第3相試験（日本） 臨床第3相試験（日本）

1. HyHub：使い捨ての改良型無菌バイアルアクセス医療デバイスで、HyQviaのバイアルから皮下組織への投与を簡便化
2. 申請を取り下げ、再申請のタイミング検討中

臨床試験データの「読み出し」とは、以下のいずれかの場合を指す：

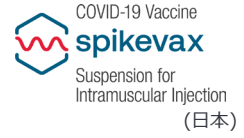
（1）該当する臨床データの取得、（2）取得した臨床データに対する必要な分析およびレビューの完了、（3）（要請される場合または通常の慣例や実務慣行に基づく場合）取得したデータについて該当する規制当局との協議

✓ マイルストーン達成

→ マイルストンの
想定時期を後ろ倒し

主要な5つのビジネス領域にわたってバランスのとれたポートフォリオ 成長製品・新製品の売上収益は、2022年度+19%成長（CERベース）



2022年度 売上収益	 消化器系疾患 対売上収益比：27% 対前年比：+9%	 希少疾患 対売上収益比：18% 対前年比：+5%	 血漿分画製剤 (PDT) 免疫疾患 対売上収益比：17% 対前年比：+15%	 オンコロジー 対売上収益比：11% 対前年比：△14%	 ニューロサイエンス (神経精神疾患) 対売上収益比：16% 対前年比：+12%	その他 対売上収益比：11% 対前年比：△11%
成長製品・ 新製品	 +15%	 +25%	 +16%	 +35%		 新製品
	 +36%	 新製品	 +19%	 新製品		 
2022年度売上収益 計1兆5,948億円（120億米ドル ¹ ）、昨年度比増分4,358億円（33億米ドル ¹ ）						

新型コロナウイルスワクチンの売上収益の想定を変更したことに伴い、2023年度よりスパイクバックス筋注およびヌバキソビッド筋注は成長製品・新製品に分類されません。
 スパイクバックス筋注およびヌバキソビッド筋注を除いた場合、2022年度の成長製品・新製品の売上収益の合計は1兆5,359億円（116億米ドル）であり、+18%の成長（CERベース）でした。

2022年度：戦略の実行を反映した業績



 **成長製品・新製品の牽引によりマネジメントガイダンスを達成または上回る**

2022年度業績サマリー

(億円、EPSを除く)	財務ベース		CORE ¹		
	2022年度	実勢レート ベース 増減率 (%)	2022年度	実勢レート ベース 増減率 (%)	CER ² ベース増減率 (%)
売上収益	40,275	+12.8%	40,275	+17.7%	+3.5%
営業利益	4,905	+6.4%	11,884	+24.4%	+9.1%
EPS	204円	+38.8%	558円	+31.5%	+13.9%

- 成長製品・新製品の力強い成長がベルケイドの後発品参入による影響を上回り、Core売上収益 **+3.5%成長 (CERベース)**
- 利益率が高い製品の売上収益成長に加え、規律ある営業経費の管理により、Core営業利益 **+9.1%成長 (CERベース)**
- 強固なフリー・キャッシュ・フローの創出により純有利子負債/調整後EBITDA 2.6倍、**Nimbus社への一時金支払い除き³で2.3倍**に到達

1. 定義は25ページ、調整表は27、28ページをご参照下さい。

2. CER：恒常為替レート。定義は25ページをご参照下さい。

3. TAK-279の取得に関連する一時金40億米ドルのうち、2023年2月に支払われた金額（合計30億米ドル）を調整した純有利子負債。残りの10億米ドルは2023年度に支払う予定。

定義は26ページ、調整表は29、30ページをご参照下さい。

2023年度見通し：独占販売期間満了により一時的だが大幅なマイナス影響



成長製品・新製品の勢いは、独占販売期間満了による売上収益への影響の大部分を相殺する見込み

2023年度業績予想サマリー

(億円)	財務ベース	CORE ¹	CORE成長率（CERベース） ²
	予想	予想	マネジメントガイダンス
売上収益	38,400	38,400	1桁台前半%の減少
営業利益	3,490	10,150	10%台前半の減少
EPS（円）	91円	434円	20%台前半の減少

- ・ 独占販売期間満了によるマイナス影響および新型コロナウイルスワクチンの減収により、Core売上収益は1桁台前半%の減少を想定
- ・ 長期的な競争力を確保するため、研究開発およびデータ、デジタル、テクノロジーへの投資を継続しつつ、規律ある営業経費の管理により利益率への影響を限定

1. 定義は25ページ、調整表は31ページをご参照下さい。
2. CER：恒常為替レート。定義は25ページをご参照下さい。

将来の成長見通しに対する自信



短期

(2024-2025年度)

中期

(2026年度-2030年代初頭)

長期

(2030年代以降)

売上収益・利益・利益率の成長へ回帰

成長製品・新製品の持続的な拡大

革新的な後期開発パイプラインのさらなる上市

Entyvioのバイオシミラーが上市されるまで独占販売期間満了の影響は限定的

約40の新規候補物質からなる開発パイプラインを含めた、強固な研究開発戦略のさらなる貢献

- Core営業利益率30%台前半から半ばへの回復
- データ、デジタル、テクノロジーの活用による生産性の向上
- 候補物質にターゲットを絞った事業開発を継続し、パイプラインを強化
- 毎年の年間配当金を増額または維持する累進的な配当方針

レバレッジ低下目標の達成と成長見通しを反映し、 資本配分に関する基本方針を更新



1 株あたり配当金を188円に増加を予定

当社は、革新的な医薬品を創出し続けるという「私たちが目指す未来」（ビジョン）に基づき、
堅実な投資適格格付を維持することを重視しながら、患者さんと株主価値を最大化するよう資本を配分してまいります。



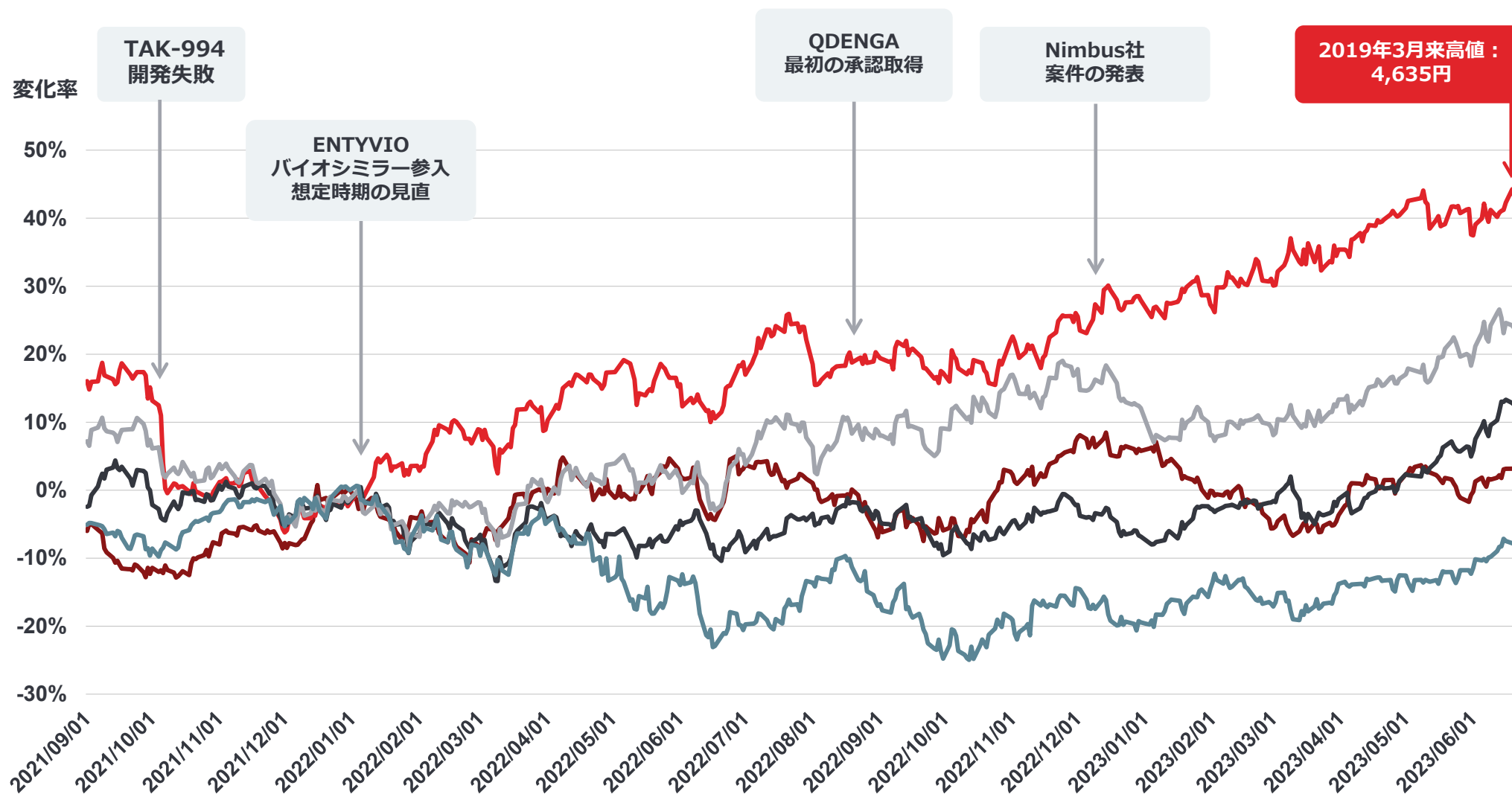
成長ドライバーへの投資

- パイプライン拡充のための社内外における機会に対する戦略的投資
- 新製品の上市
- 血漿分画製剤事業

株主還元

- 毎年の年間配当金を増額または維持する累進的な配当方針
- 自社株式の取得は適切な場合に取り組む

当社の実績および将来の成長見通しは投資家に認識されている



2022年1月以降のパフォーマンス

武田薬品工業
+42.6%

TOPIX Pharma
+23.4%

TOPIX +13.0%

S&P Pharma
+3.1%

S&P 500 -8.4%

世界中の人々の健康と、 輝かしい未来に貢献する



私たちはこの約束を胸に、
革新的な医薬品を創出し続けます。

PATIENT

すべての患者さんのために

- 私たちは、倫理観をもってサイエンスの革新性を追求します。そして、人々の暮らしを豊かにする医薬品の創出に取り組めます。
- 私たちの医薬品を、より多くの人々に迅速にお届けします。

PEOPLE

ともに働く仲間のために

- 私たちは、理想的な働き方を実現します。

PLANET

いのちを育む地球のために

- 私たちは、自然環境の保全に寄与します。

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

- サイエンスに基づき、もっとも信頼されるデジタルバイオ医薬品企業として、これからも変革し続けます。

私たちが大切にしている価値観である
タケダイズムとは、まず**誠実**であること。
そして、**公正・正直・不屈**の精神で
支えられています。

私たちはこれを道しるべとしながら、

1. 患者さんに寄り添い (**Patient**)
2. 人々と信頼関係を築き (**Trust**)
3. 社会的評価を向上させ (**Reputation**)
4. 事業を発展させる (**Business**)

を日々の行動指針とします。

思いやりを持ったリーダーシップ（ケアリングリーダーシップ）



人材



ウェルビーイング



ダイバーシティ、
エクイティ&
インクルージョン



学習

データに基づくアプローチでより良い働き方の実現を目指す

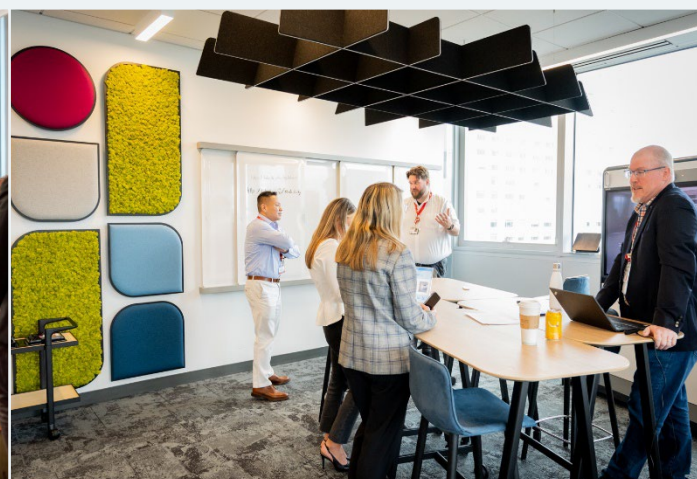
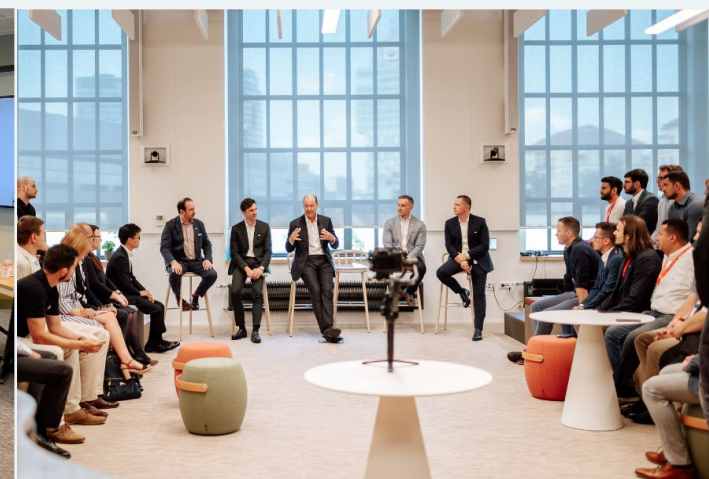
対面での交流を最大限に有意義なものにする環境を整え、 従業員同士の交流や協力の機会を促進



従来の
オフィス



新しい
オフィス



タケダの新しいコミュニティスペース

脱炭素化の実現に向けて



「ゼロ・カーボン・エミッション」ビル（シンガポール）



セブン・カウボーイ・ウィンド・プロジェクト（米国）



2035年までには

当社の事業活動における温室効果ガス排出量を
ネットゼロに（スコープ1と2）



2040年までには

バリューチェーン全体での温室効果ガス排出量を
ネットゼロに（スコープ3）

*温室効果ガス排出量は、スコープ1（事業者による直接的な排出、スコープ2（購入エネルギーの使用に伴う間接的な排出）、スコープ3（製品の購入、使用、廃棄に伴う影響など、当社のバリューチェーンに関連する間接的な排出）に分類されます。

データ、デジタル、テクノロジーの力でバリューチェーン全体にわたり価値を創造



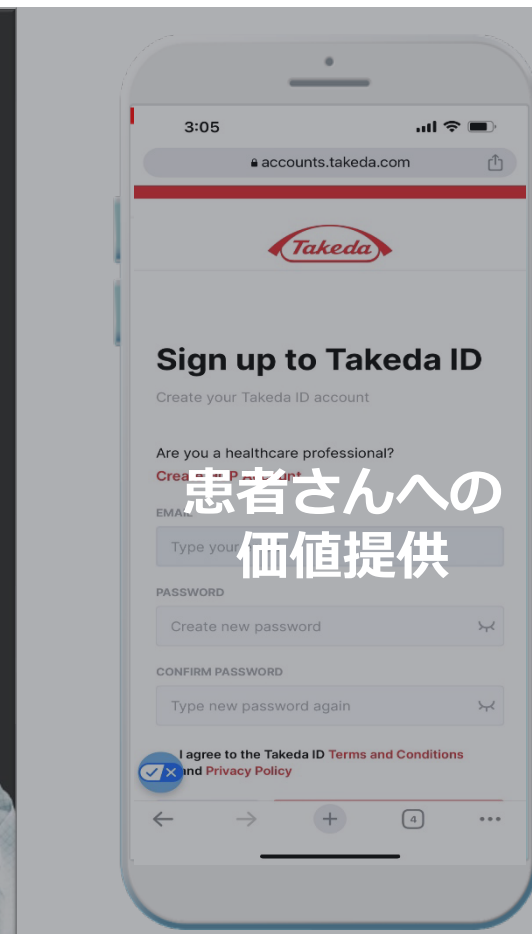
研究開発



製造・サプライ
チェーン



従業員



患者さんへの
価値提供

もっとも信頼されるデジタルバイオ医薬品企業になるために

多様な取締役によるタケダの強固なコーポレート・ガバナンス

株主総会での選任を条件とした新しい取締役体制



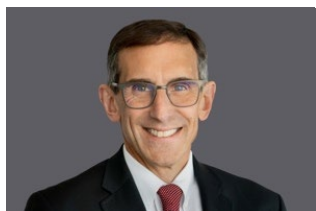
社内取締役 3名



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長、チーフ
エグゼクティブ オフィサー



コスタ・サルウコス
取締役、チーフ
フィナンシャル オフィサー



アンディー・プランプ
取締役、リサーチ&
デベロップメント プレジデント

議長/委員長・メンバー

CB

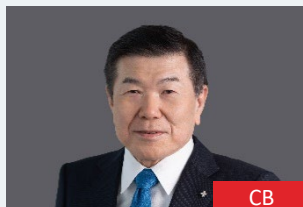
取締役会議長



監査等委員会メンバー

- 指名委員会および報酬委員会の委員長および委員については、6月28日開催の定時株主総会後に正式決定する予定です。
- 監査等委員会の4名は2022年の第146回定時株主総会にて選任されたため、2024年の第148回定時株主総会まで在任となります。

独立社外取締役 12名



飯島 彰己
独立社外取締役
取締役会議長



オリビエ・ポユオン
独立社外取締役



ジャン=リュック・ブテル
独立社外取締役



イアン・クラーク
独立社外取締役



スティーブン・ギリス
独立社外取締役



ジョン・マラガノア
独立社外取締役



ミシェル・オーシンガー
独立社外取締役



新任
津坂 美樹
独立社外取締役

監査等委員会



初川 浩司
独立社外取締役
監査等委員会委員長



藤森 義明
独立社外取締役



東 恵美子
独立社外取締役



キンバリー・リード
独立社外取締役

多様で経験豊富なタケダ・エグゼクティブ・チーム



クリストフ・ウェバー
代表取締役 社長 CEO



アンディー・ブランブ
取締役、
リサーチ&開発
プレジデント



コスタ・サルウコス
取締役、チーフ フィナンシャル
オフィサー



ガブリエレ・リッチ
チーフ データ&テクノロジー
オフィサー



佐藤 弘毅
コーポレート ストラテジー
オフィサー&CEOオフィス



**ジャイルズ・
プラットフォーム**
PDTビジネスユニット
プレジデント



ジュリー・キム
U.S.ビジネスユニット
プレジデント

国籍
10カ国

年齢
30-60代

女性比率
39%



エレイン・シャノン
暫定グローバル クオリティ
オフィサー



ローレン・デュブレイ
チーフ HR オフィサー



マルチェロ・アゴスティ
グローバル
ビジネス開発
オフィサー



岩崎 真人
代表取締役
日本管掌



古田 未来乃
ジャパンファーマ
ビジネスユニット
プレジデント



ラモナ・セケイラ
グローバル ポートフォリオ
ディビジョン
プレジデント



トーマス・ウォスニフスキー
グローバル
マニファクチャリング&
サプライ オフィサー



ムワナ・ルゴゴ
チーフ エシックス&
コンプライアンス
オフィサー



大藪 貴子
チーフ グローバル コーポレート
アフェアーズ&サステナビリティ
オフィサー



中川 仁敬
グローバル ジェネラル
カウンセラー



テレサ・ビテッティ
グローバルオンコロジー
ビジネスユニット
プレジデント

世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献する



APPENDIX



Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フローの定義



Core売上収益は、売上収益から、重要性のある本業に起因しない（非中核）事象による影響を控除して算出します。

Core営業利益は、当期利益から、法人所得税費用、持分法による投資損益、金融損益、その他の営業収益及びその他の営業費用、製品に係る無形資産償却費及び減損損失を控除して算出します。その他、非定常的な事象に基づく影響、企業買収に係る会計処理の影響や買収関連費用など、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。

Core EPSは、当期利益から、Core営業利益の算出において控除された項目と営業利益以下の各科目のうち、非定常的もしくは特別な事象に基づく影響、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。これらには、条件付対価に係る公正価値変動（時間的価値の変動を含む）影響などが含まれます。さらに、これらの調整項目に係る税金影響を控除した後、報告期間の自己株式控除後の平均発行済株式総数で除して算出します。

CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート)ベースの増減は、当年度の財務ベースの業績もしくはCore業績について、前年度に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年度との比較において為替影響を控除するものです。

当社が、**フリー・キャッシュ・フロー**をお示しする理由は、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられる流動性についての同様の指標として、本指標が投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。本指標は、当社の経営陣が特に流動性要件を満たす能力及び資本配分方針をサポートする能力に関連している、当社の流動性及びキャッシュ・フローを評価する際にも使用しています。また、本指標は、投資家の理解にとって、当社の非中核事業及び投資ポートフォリオの戦略的な売却がどのようにキャッシュ・フローや流動性に貢献しているかを理解するうえで有用であると考えています。

当社のフリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得、無形資産の取得、投資の取得及び即時的または一般的な業務用に使用できないいかなるその他の現金を控除し、有形固定資産の売却による収入、投資や事業の売却による収入、売却による現金及び現金同等物の純額を加算し、調整しています。

フリー・キャッシュ・フローの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社の、資本の使用又は配分を必要とする現在及び将来の契約上その他のコミットメントの影響は反映されていません、(iii) 投資や事業の売却による収入、売却による現金及び現金同等物の純額を加算分は、中核事業となる継続的な事業からの収入は反映していません。フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに基づく指標である営業活動によるキャッシュ・フロー及びその他の流動性指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが最も類似します。

EBITDA、調整後EBITDA、純有利子負債の定義



EBITDA及び調整後EBITDA

当社がEBITDA及び調整後EBITDAをお示しする理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであり、有用と考えられることにあります。また、調整後EBITDAは、変化に富み予測が困難であるが故に経営とは無関係な諸要素により不透明となり、業績に実質的な影響を与え得る、また、継続的に期間毎の業績を評価することに困難にし得る事業全体の動向を、投資家の皆様が把握する際に有用と考えられます。

EBITDA及び調整後EBITDAは、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。これらの指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得ます。

EBITDA及び調整後EBITDAの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i)製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです。また、(ii)業績評価において重視され得る一定の財務情報、例えば、企業買収や無形資産の償却による影響を除外しております。さらに、(iii)一定期間において継続して生じ得る一定の事項を除外しており、また、(iv)投資家において当社の長期的な観点からの経営には無関係ととらえる事項を必ずしも除外しておりません。これらのIFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠する当期利益（損失）と同視してはならず、また、これらに代わるものととらえてはなりません。投資家の皆様におかれましては、当社の財務諸表全体を把握し、当社業績、事業価値及び収益予想を評価する基礎となる指標としてはIFRS準拠財務指標に依拠し、また、EBITDA及び調整後EBITDAは補足的な指標として用いられるようお願い申し上げます。

当社においては、EBITDAは、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、並びに純支払利息控除前の連結当期利益を指します。また、調整後EBITDAは、減損損失、その他の営業収益・費用（減価償却費及び償却費を除く）、金融収益・費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益及び企業結合会計影響や取引関連費用などの当社の中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。IFRSに準拠した指標の中では当期利益が最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整をご参照下さい。

純有利子負債

当社が、純有利子負債をお示しする理由は、当社の経営陣が、当社の現金及び現金同等物控除後の負債をモニター及び分析するために本指標を使用し、また当社のレバレッジをモニターするために本指標を調整後EBITDAと併せて使用しており、投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。また、負債についての同様の指標が、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであると考えています。

当社の純有利子負債は、以下により算出しています。まず、連結財政状態計算書に記載されている社債及び借入金の流動部分と非流動部分合計を計算します。その上で、(i) 期初に残存する外貨建て負債を直近12か月の期中平均レートを用いて換算し、報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については対応するスポットレートを用いて換算するものであり、当社の経営陣が当社のレバレッジをモニターするために使用する方法論を反映しています、また、(ii) S&Pグローバル・レーティング・ジャパンの格付手法に基づく株式に似た特徴を評価して、S&Pグローバル・レーティング・ジャパンが2019年6月に発行したハイブリッド債（劣後債）の元本総額5,000億円に対して、50%のエクイティクレジットを適用しています。この数字から現金及び現金同等物及びワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金を控除し、純有利子負債を算出しています。

純有利子負債の有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社の負債に支払われる利息の金額を反映していません、(iii) 当社の負債に対する当社の前払い能力又は償還能力の制限を反映していません、(iv) 当社が現金同等物を現金に換金する際に、ある通貨から他の通貨に換金する際に、又は当社グループ内で現金を移動する際に、当社が負担する可能性のある手数料、費用又はその他の費用を反映していません、(v) 有利子負債には、当社のローン契約と整合性のある平均為替レートが適用されますが、これは当社がある通貨を他の通貨に換金することができる実際の為替レートを反映していません、(vi) 当社は合理的であると考えていますが、当社の劣後債の金額はそれらの負債性に影響を及ぼさないことから、持分法による投資利益を反映しています。純有利子負債は、IFRSに基づく指標である社債、借入金及びその他の負債指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。

IFRSに準拠した指標の中で、純有利子負債は社債と借入金が最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、純有利子負債/調整後EBITDAをご参照下さい。

2022年度 財務ベースからCoreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	40,275					40,275
売上原価	△12,441				357	△12,084
売上総利益	27,834				357	28,191
販売費及び一般管理費	△9,973				△0	△9,973
研究開発費	△6,333				△0	△6,334
製品に係る無形資産償却費	△4,851	4,851				—
製品に係る無形資産減損損失	△573		573			—
その他の営業収益	254			△254		—
その他の営業費用	△1,452			1,452		—
営業利益	4,905	4,851	573	1,198	356	11,884
対売上収益比率	12.2%					29.5%
金融収益及び費用（純額）	△1,068				△198	△1,266
持分法による投資損益	△86				88	2
税引前当期利益	3,751	4,851	573	1,198	246	10,620
法人所得税費用	△581	△1,035	△125	△255	39	△1,956
非支配持分	△0					△0
当期利益（親会社の所有者持分）	3,170	3,816	449	944	285	8,664
基本的EPS（円）	204					558
株式数（百万）	1,552					1,552

2021年度 財務ベースからCoreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整							CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	アイルランド税務評価(注1)	テバ合併会社に係る会計処理影響	その他	
売上収益	35,690				△ 1,330		△ 8	△ 146	34,205
売上原価	△ 11,068				6			456	△ 10,606
売上総利益	24,622				△ 1,324		△ 8	310	23,599
販売費及び一般管理費	△ 8,864				10			51	△ 8,802
研究開発費	△ 5,261							16	△ 5,245
製品に係る無形資産償却費	△ 4,188	4,188							—
製品に係る無形資産減損損失	△ 541		541						—
その他の営業収益	431			△ 417			△ 14		—
その他の営業費用	△ 1,591			1,591					—
営業利益	4,608	4,188	541	1,174	△ 1,314		△ 22	377	9,552
対売上収益比率	12.9%								27.9%
金融収益及び費用（純額）	△ 1,429							210	△ 1,219
持分法による投資損益	△ 154						73	118	37
税引前当期利益	3,026	4,188	541	1,174	△ 1,314		51	705	8,370
法人所得税費用	△ 724	△ 897	△ 152	△ 261	402	654	△ 16	△ 738	△ 1,732
非支配持分	△ 1								△ 1
当期利益（親会社の所有者持分）	2,301	3,291	389	912	△ 912	654	35	△ 32	6,637
基本的EPS（円）	147								425
株式数（百万）	1,564								1,564

（注1）2014年にShire社がAbbVie社からの買収申し出の取下げに関連して受領した違約金に対するアイルランドでの課税を巡る税務評価から生じた税金および利息の合計と関連する税務便益5億円との純額654億円です。

2022年度 純有利子負債/調整後EBITDA



純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2022年度
現金および現金同等物 ^(注1)	4,077
連結財政状態計算書上の負債簿価	△43,823
ハイブリッド社債の50%資本性認定 為替調整 ^(注2)	2,500
有利子負債 ^(注3)	85
純有利子負債	△41,239
	△37,161
TAK-279の取得に関連する一時金支払 ^(注4)	4,004
純有利子負債（TAK-279の取得に関連する一時金を除く）	△33,157
純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.6x
純有利子負債/調整後EBITDA倍率 （TAK-279の取得に関連する一時金を除く）	2.3x
調整後EBITDA	14,218

キャッシュの純増減

(億円)	2021年度	2022年度	対前年度	
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,231	9,772	△1,459	△13.0%
有形固定資産の取得による支出	△1,233	△1,407		
有形固定資産の売却による収入	18	10		
無形資産の取得による支出	△628	△4,930		
投資の取得による支出	△83	△102		
投資の売却、償還による収入	169	223		
事業取得による支出 （取得した現金及び現金同等物控除後）	△497	—		
事業売却による収入 （処分した現金及び現金同等物控除後）	282	80		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純減少額	△0	400		
長期借入れによる収入	—	750		
長期借入金の返済による支出	△4,141	△752		
社債の発行による収入	2,493	—		
社債の償還による支出	△3,960	△2,815		
自己株式の取得による支出	△775	△269		
利息の支払額	△1,082	△1,086		
配当金の支払額	△2,837	△2,794		
その他	△411	△470		
現金の増減額（△は減少）	△1,453	△3,391	△1,938	△133.4%

(注1) 各期末日の翌日から1年以内に償還期限の到来する短期投資を含み、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに關係して当社が第三者に代わり保有していた現金を除く。

(注2) 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算しております。

報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算しております。

(注3) 流動・非流動の社債および借入金。2019年6月に5,000億円のハイブリッド債を発行、格付け機関から認定された50%の資本性である2,500億円を負債から控除。

また、負債償却と為替影響に関連した非資金性の調整を含む。

(注4) 当項目は、2023年2月にTAK-279の取得に関連する一時金として支払った40億米ドルの一部である30億米ドルを、2023年3月31日期末為替レートである1米ドル133.48円を用いて日本円に換算しております。

2022年度および2021年度 当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整



(億円)	2021年度	2022年度	対前年度	
当期利益	2,302	3,170	869	37.7%
法人所得税費用	724	581		
減価償却費及び償却費	5,832	6,644		
純支払利息	1,178	1,115		
EBITDA	10,036	11,510	1,474	14.7%
減損損失	545	644		
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	1,063	1,090		
金融収益・費用（純支払利息を除く）	251	△47		
持分法による投資損益	154	86		
その他の調整項目	△302	935		
COVID-19に係る非中核費用	104	99		
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却およびその他の非中核製品の売却	△1,448	—		
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	319	249		
その他の費用 ^(注1)	724	587		
売却した製品に係るEBITDA ^(注2)	△66	—		
調整後EBITDA	11,680	14,218	2,538	21.7%

(注1) 株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。

(注2) 調整後EBITDAの算出にあたり、売却した製品に係るEBITDAを調整しています。

2023年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整			Core
		無形資産 に係る 償却費	無形資産 に係る 減損損失	その他の 営業収益及び 営業費用	
売上収益	38,400				38,400
売上原価					
売上総利益					
販売費及び一般管理費及び研究開発費					
製品に係る無形資産償却費	△4,800	4,800			—
製品に係る無形資産減損損失	△500		500		—
その他の営業収益	140			△140	—
その他の営業費用	△1,500			1,500	—
営業利益	3,490	4,800	500	1,360	10,150



略語の用語集



地域に関する略語：
CN: 中国; EU: 欧州; JP: 日本; US: 米国

AAD	American Academy of Dermatology（米国皮膚科学会）
AATD	α 1-antitrypsin deficiency（ α 1アンチトリプシン欠乏症）
AATD LD	α 1-antitrypsin deficiency associated liver disease（ α -1アンチトリプシン欠乏症による肝疾患）
ADAMTS13	a disintegrin-like and metalloproteinase with a thrombospondin type 1 motifs 13（トロンボスポンジン1型モチーフ13を有するディスインテグリンおよびメタロプロテナーゼ）
	attention deficit hyperactivity disorder（注意欠陥多動性障害）
ADHD	
ALGS	Alagille syndrome（アラジール症候群）
ALK	anaplastic lymphoma kinase（未分化リンパ腫キナーゼ）
ALL	acute lymphocytic leukemia（急性リンパ性白血病）
AVA	advanced vial access（改良型バイアルアクセス）
BLA	biologics license application（生物製剤承認申請）
BMA	bradykinin mediated angioedema（ブラジキニン介在性血管性浮腫）
BTD	breakthrough therapy designation（画期的新薬指定）
CAR NK	chimeric antigen receptor natural killer cell（キメラ抗原受容体-ナチュラルキラー細胞）
CD	Crohn's disease（クローン病）
CHMP	Committee for Medicinal Products for Human Use（欧州医薬品委員会）
CIDP	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy（慢性炎症性脱髄性多発根神経炎）
CML	chronic myeloid leukemia（慢性骨髄性白血病）
CMV	cytomegalovirus（サイトメガロウイルス）
CPF	complex perianal fistulas（複雑痔瘻）
CRC	colorectal cancer（大腸がん）
CRL	complete response letter（審査完了報告通知）
CRPC	castrate-resistant prostate cancer（去勢抵抗性前立腺がん）
CTCL	cutaneous T Cell Lymphoma（皮膚T細胞性リンパ腫）
cTTP	congenital thrombotic thrombocytopenic purpura（先天性血栓性血小板減少性紫斑病）
DOAC	direct oral anti-coagulation（直接作用型経口抗凝固薬）
DS	Dravet syndrome（ドラベ症候群）
EGFR	epidermal growth factor receptor（上皮増殖因子受容体）

EMA	European Medicines Agency（欧州医薬品庁）
EU-M4all	EU-Medicines for all
FDA	the U.S. Food & Drug Administration（米国食品医薬品局）
FL	front line（フロントライン適応）
FSI	first subject in（最初の患者登録）
FY	fiscal year（年度）
GI	gastrointestinal（胃腸）
GvHD	graft versus host disease（移植片対宿主病）
H2H	head to head（直接比較）
HAE	hereditary angioedema（遺伝性血管浮腫）
HemA	hemophilia A（血友病A）
HL	Hodgkin's lymphoma（ホジキンリンパ腫）
HSCT	hematopoietic stem cell transplant（造血幹細胞移植）
IARS	International Anesthesia Research Society（国際麻酔学研究学会）
IBD	inflammatory bowel disease（炎症性腸疾患）
IgA	immunoglobulin A（免疫グロブリンA）
IgAN	immunoglobulin A nephropathy（IgA腎症）
IgG	immunoglobulin G（免疫グロブリンG）
IND	investigational new drug（治験薬）
ITP	immune thrombocytopenic purpura（免疫性血小板減少性紫斑病）
iTTP	immune thrombotic thrombocytopenic purpura（免疫性血栓性血小板減少性紫斑病）
JAK	Janus kinase（ヤヌスキナーゼ）
IV	intravenous（静脈投与）
iPSC	induced pluripotent stem cells（人工多能性幹細胞）
LCM	lifecycle management（ライフ・サイクル・マネジメント）
LD	liver disease（肝疾患）
LGS	Lennox-Gastaut Syndrome（レノックス・ガストー症候群）
mCRC	metastatic colorectal cancer（転移性大腸がん）
mCRPC	metastatic castrate-resistant prostate cancer（転移性去勢抵抗性前立腺がん）
MDD	major depressive disorder（うつ病）

MG	myasthenia gravis（重症筋無力症）
MLD	metachromatic leukodystrophy（異染性白質ジストロフィー）
MM	multiple myeloma（多発性骨髄腫）
MMN	multifocal motor neuropathy（多巣性運動ニューロパチー）
mNSCLC	metastatic non-small cell lung cancer（転移性非小細胞肺癌）
MSA	multiple system atrophy（多系統萎縮症）
MSS	microsatellite stable（マイクロサテライト安定性）
NASH	non-alcoholic steatohepatitis（非アルコール性脂肪肝炎）
ND	newly diagnosed（新たに診断された）
NDA	new drug application（新薬承認申請）
NEJM	New England Journal of Medicine
NK	natural killer（ナチュラルキラー）
NME	new molecular entity（新規候補物質）
NMPA	(China's) National Medical Products Administration（中国国家薬品监督管理局）
NSCLC	non-small cell lung cancer（非小細胞肺癌）
NT1 or 2	narcolepsy Type 1（ナルコレプシータイプ1） or narcolepsy Type 2（ナルコレプシータイプ2）
ORR	overall response rate（全奏効率）
PASI	psoriasis area and severity index（乾癬の重症度を表す指標）
PCD	protein C deficiency（プロテインC欠乏症・異常症）
PEX	plasma exchange（血漿交換）
PFIC	progressive familial intrahepatic cholestasis（進行性家族性肝内胆汁うっ滞症）
Ph+ ALL	Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia（フィラデルフィア染色体陽性ヒト急性リンパ性白血病）
PID	primary immunodeficiency（原発性免疫不全）
PK	pharmacokinetics（薬物動態）
PMDA	Japan's Pharmaceuticals and Medical Devices Agency（医薬品医療機器総合機構）
POC	proof of concept（概念実証）

POGD	post-operative gastrointestinal dysfunction（術後消化器機能障害）
PRIME	Priority medicines scheme by EMA（EMAによる優先審査制度）
PTH	parathyroid hormone（副甲状腺ホルモン）
QD	quaque die, every day（1日1回投与）
R/R	relapsed/refractory（再発/難治性）
RTU	ready to use（調製済み）
SC	subcutaneous formulation（皮下投与製剤）
SCD	sickle cell disease（鎌状赤血球症）
SCPCD	severe congenital protein C deficiency（重症先天性プロテインC欠乏症）
SCT	stem cell transplant（幹細胞移植）
SID	secondary immunodeficiency（続発性免疫不全）
SLE	systemic lupus erythematosus（全身性エリテマトーデス）
SOC	standard of care（標準治療）
STING	stimulator of interferon genes（インターフェロン遺伝子刺激因子）
SUMO	small ubiquitin-related modifier（低分子ユビキチン様修飾因子）
TCE	T-cell engager（T細胞誘導療法）
TEAE	treatment emergent adverse event（試験治療下での有害事象）
TKI	tyrosine kinase inhibitor（チロシンキナーゼ阻害剤）
TREM2	triggering receptor expressed on myeloid cells 2
TTP	thrombotic thrombocytopenic purpura（血栓性血小板減少性紫斑病）
TYK2	tyrosine kinase 2（チロシンキナーゼ2）
UC	ulcerative colitis（潰瘍性大腸炎）
VEGFR	vascular endothelial growth factor receptors（血管内皮増殖因子受容体）
vWD	von Willebrand disease（フォン・ウィレブランド病）
vWF	von Willebrand factor（フォン・ヴィレブランド因子）
WW	Worldwide（全世界）